

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 毎年5月
基準日 定時株主総会 毎年2月末日
期末配当金 毎年2月末日
中間配当金 毎年8月31日（中間配当を行う場合）
（その他必要がある場合はあらかじめ公告して定めた日）

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777（通話料無料）

公告方法 電子公告（当社ホームページに掲載）
<http://ww2.maruyoshi-center.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場取引所市場 東京証券取引所 市場第二部

（ご注意）

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



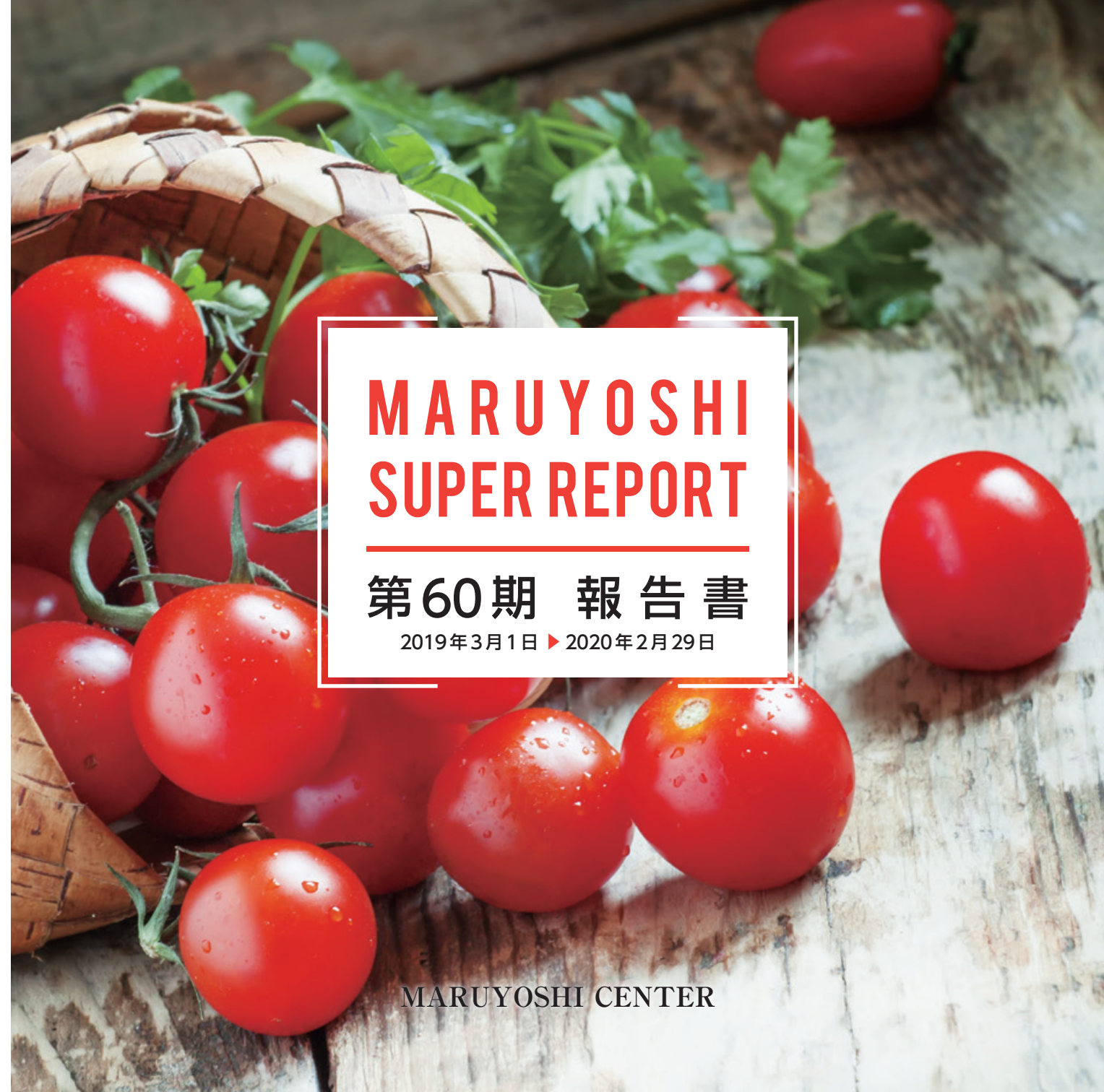
環境方針

- ① 企業活動のなかで、資源の有効利用、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、環境に配慮した商品の提供に取り組んでいきます。
- ② 環境に関する法規制および当社が受け入れを決めた要求事項を遵守します。
- ③ 環境保全のために必要な改善の継続と汚染の予防に努めます。
- ④ この方針は、文書化して全従業員に周知徹底し、実施・維持します。
- ⑤ この方針は、社内外全般に公表します。

マルヨシセンターに関する情報は、ホームページでご覧いただけます。
<http://ww2.maruyoshi-center.co.jp/>



株式会社 **マルヨシセンター**



MARUYOSHI SUPER REPORT

第60期 報告書

2019年3月1日 ▶ 2020年2月29日

MARUYOSHI CENTER

Top Message

地域の皆様の食生活を より豊かに、楽しく、便利にする ライフスタイル提案型 スーパーマーケットを目指します。



代表取締役社長 佐竹 克彦

当連結会計年度（2019年3月1日～2020年2月29日）におけるわが国の経済は、雇用環境や企業収益の改善を背景に、緩やかな景気回復基調でしたが、消費税増税後の実質GDPは前年比マイナスとなりました。

また、世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行も加わり、景気の先行きは不透明な状況が継続しております。

小売業界におきましては、競合他社の出店や価格競争が一層激化しているとともに、困窮する労働力の確保に加え人件費関連コストの増加、また、企業の統合・業界再編への動きがさらに強まっており、業界を取り巻く環境は引き続き厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社は基本方針を「マルヨシセンターらしさの実現」として、経営理念である「健康とおいしさ」をキーワードに当社独自の健康志向商品や味・品質にこだわった商品（日配・惣菜）を開発するとともに、即食ニーズの高まりに対応する簡便商品の導入、外食市場の取り込みを狙ったこだわり惣菜の開発を行っております。また、「挨拶」「サービス」「鮮度管理・クリンリネス」「品切れさせない」を行動の基本とし地域のお

客様に喜んでいただけるように取り組んでおります。

一方、当社商圏内への競合店出店が相次ぎ、業績への影響が拡大していることから、当社は効率化を目的とした企業体質の改善に着手いたしており、人件費削減を目的としたセミセルフレジの全店導入を行いました。また、不採算店舗の山越店（愛媛県松山市）を2019年3月に閉店いたしました。さらに、商圏内シェアの拡大が難しい中、品揃えを見直すことにより売上総利益の改善を進めております。

また、縮小する商圏や異業種間の競争に対応するため、店舗規模の縮小化を図り、地域や店舗の特性に合った商品を選択し集中的に品揃えすることで、競合他社との更なる差別化を進めており、新たにグランデリーズ昭和町店（香川県高松市）を2019年3月に新店いたしました。

当社は、2019年11月12日に株式会社イズミと資本業務提携契約を締結いたしました。これにより、商品仕入れの見直しや共同仕入れによるスケールメリットの拡充等を図ること、お客様に良質な商品をさらにお求め易い価格で提供できるように努めてまいります。

このような取り組みの結果、当連結会計年度の売上高は、379億45百万円（前期比2.2%減）、営業利益は2億24百万

円（前期比0.2%減）、経常利益は1億78百万円（前期比5.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1億40百万円（前期は5億25百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

今後の見通しにつきましては、当社を取り巻く外部環境はなお厳しく、人口減少や可処分所得の減少、節約志向などによる個人消費の伸び悩み、2019年10月の消費税率の引き上げ、また、新型コロナウイルス感染症の流行も加わり引き続き予断を許さない状況であります。

このような環境のもと、当社は「健康とおいしさ」の経営理念に基づき、お客様にライフスタイル提案のできる店舗を

構築するとともに、グランデリーズモデルの中小型店の確立を進めてまいります。

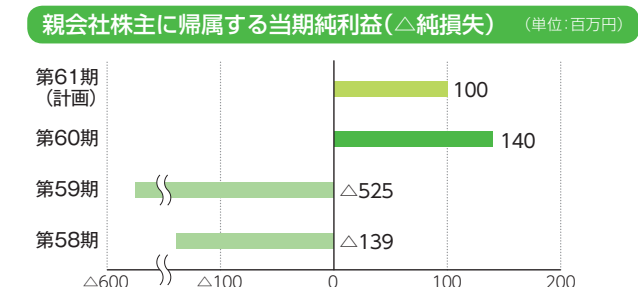
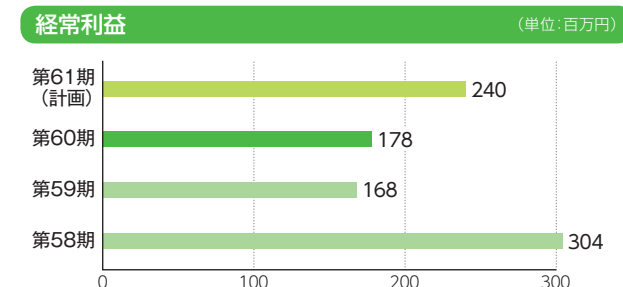
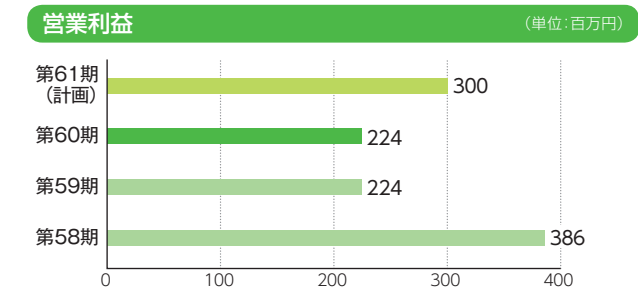
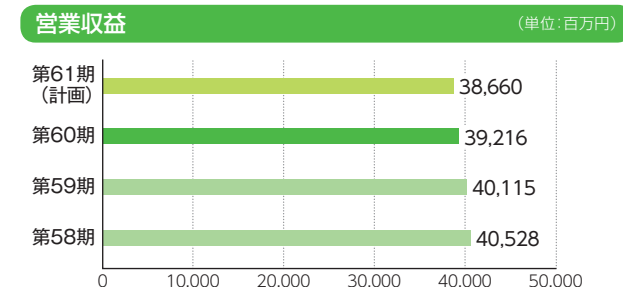
その他、消費者の食の安全や健康に対する関心に対応するため、自社製造商品の開発強化や品質にこだわった商品仕入れ等、価値ある商品の開発と提供も引き続き行ってまいります。

一方、新型コロナウイルス感染拡大予防措置として、店舗での防疫対策を強化してまいります。

また、感染拡大に対応する緊急事態宣言に伴う外出自粛要請、小中高校の休校、各業種への休業要請等が長期化した場合の生活習慣の変化やニーズの変化に対応した品揃えや販売方法の適応も進めてまいります。

2020年5月

財務ハイライト(連結)



株式会社イズミと資本業務提携契約を締結しました。

当社と株式会社イズミは、互いの経営資源を有効に活用することで競争力を強化し、地域にとってなくてはならない食品スーパーマーケットとして、お客様の豊かな食生活の実現と地域貢献に取り組んでまいります。



(株)イズミ 山西泰明社長(左)と当社 佐竹克彦社長(右) (2019年11月12日、高松市)


業務提携の目的

ショッピングセンターやスーパーマーケット等の小売事業をコビジネスとし、中国・四国・九州地方を中心に店舗網を展開する株式会社イズミと当社は、ともに地域とのつながりを重視した経営を実現し、価格だけでなく味と品質を重視した店舗運営をしております。

この度、当社の目指す「ライフスタイル提案型スーパーマーケット」と、株式会社イズミの目指す「日本一の高質リージョナル総合スーパー」の経営ビジョンには共通するものがあり、資本業務提携にいたしました。

今後は、スケールメリットを活かした仕入れコストの削減や、互いのノウハウやスキルの共有など、相互の経営資源をさらに強化してまいります。

株式会社イズミの概要

名称	株式会社イズミ
所在地	広島県広島市東区二葉の里三丁目3番1号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 山西 泰明
事業内容	ショッピングセンター、セネラルマーチャントライジングストア(GMS)、スーパーマーケット等の業態による衣料品、住居関連品、食料品等の販売およびインポート事業
資本金	196億13百万円
設立年月日	1961年(昭和36年)10月27日
連結(2020年2月期)	
営業収益	7,443億円(売上高7,094億円)
店舗数	197店舗
従業員数	正社員4,455名 パートタイマー11,457名(1日8時間換算)

(注)店舗数は、イズミ単体と食品スーパー子会社4社の店舗数の合算です。



業務提携の内容

- ① 商品仕入の見直し(価格・取引先など)
- ② 共同仕入によるスケールメリットの拡充
- ③ 生鮮品を含む地場商品ルートの構築および原価低減
- ④ カード戦略の共有化(ポイント政策・電子マネーの共通化)
- ⑤ 物流、販促、資材購入等における協力
- ⑥ 惣菜商品の共同開発、製造の協力
- ⑦ 人事交流(従業員への教育研修、各会議への参加など)
- ⑧ 新規出店、店舗閉鎖に係る協力
- ⑨ 生産性向上に資する経営管理・店舗管理の手法、情報システムへの協力
- ⑩ その他これらに関連する事項、および両者が合意した事項の推進



「健康とおいしさ」を考えるマルヨシセンターのこだわりお惣菜。

健康・おいしさ、鮮度・手軽さにこだわった、マルヨシセンターの体にやさしいお惣菜の数々をご紹介します。

素材と味 和惣菜

厳選された素材を活かしたお惣菜。
無駄なくおいしい、食べきりサイズも展開しています。



剣山から湧き出る 体にやさしい天然水



「霊峰剣山」にある杉の原生林と石灰岩の地層から湧き出る水を採用した、天然ミネラルウォーター「剣山の天然水」。マルヨシセンターのお惣菜はこの天然水を使用して作られています。

健康に配慮した 希少糖を用いたお惣菜



今話題の希少糖を使ったお惣菜の販売は、スーパーマーケットとしてはマルヨシセンターが先駆け。これからも体にやさしい希少糖を使用したお惣菜シリーズを開発してまいります。

簡単調理クイックディッシュ

温めるだけで、簡単便利な上に、
主役級のおいしさです。



手軽にできる
メイン料理!

簡単おいしいお手軽一品



こだわり中華「華匠」

本格的な調味料を使ったオリジナルの中華ソースなど、
素材にこだわった本格中華をご家庭に届けます。

種類も豊富な
本格中華!



「匠」だし巻き玉子

こだわり抜いた一番だしをたっぷり使って、
店内で一つずつ丁寧に巻き上げています。



店内で手作り!

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期末 (2020年2月29日現在)	前期末 (2019年2月28日現在)
資産の部		
流動資産	3,576,698	2,906,314
固定資産	14,083,996	14,170,298
有形固定資産	11,808,486	11,854,344
無形固定資産	535,381	512,004
投資その他の資産	1,740,128	1,803,950
繰延資産	6,114	6,015
資産合計	17,666,809	17,082,628
負債の部		
流動負債	7,152,160	7,325,303
固定負債	8,461,812	8,288,560
負債合計	15,613,973	15,613,864
純資産の部		
株主資本	1,934,605	1,342,279
資本金	1,077,998	1,077,998
資本剰余金	514,827	813,528
利益剰余金	366,522	△ 34,734
自己株式	△ 24,743	△ 514,512
その他の包括利益累計額	△ 32,858	△ 11,685
その他有価証券評価差額金	△ 33,555	15,357
退職給付に係る調整累計額	696	△ 27,042
非支配株主持分	151,089	138,169
純資産合計	2,052,836	1,468,764
負債及び純資産合計	17,666,809	17,082,628

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期 (2019年3月1日から 2020年2月29日まで)	前期 (2018年3月1日から 2019年2月28日まで)
売上高	37,945,641	38,795,316
売上原価	28,521,742	29,327,359
売上総利益	9,423,898	9,467,957
その他営業収入	1,270,470	1,319,878
営業総利益	10,694,368	10,787,835
販売費及び一般管理費	10,469,968	10,562,931
営業利益	224,399	224,904
営業外収益	41,558	44,805
営業外費用	87,082	100,890
経常利益	178,875	168,819
特別利益	179,989	—
特別損失	104,143	602,130
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	254,721	△ 433,311
法人税、住民税及び事業税	38,510	57,426
法人税等調整額	63,138	17,951
当期純利益又は当期純損失(△)	153,073	△ 508,689
非支配株主に帰属する 当期純利益	13,067	16,673
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	140,005	△ 525,363

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期 (2019年3月1日から 2020年2月29日まで)	前期 (2018年3月1日から 2019年2月28日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,985,592	707,409
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 381,785	△ 983,640
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,117,778	238,662
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	486,028	△ 37,568
現金及び現金同等物の期首残高	967,113	1,004,681
現金及び現金同等物の期末残高	1,453,141	967,113

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(2019年3月1日から2020年2月29日まで)

(単位：千円)

科目	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,077,998	813,528	△ 34,734	△ 514,512	1,342,279	15,357	△ 27,042	△ 11,685	138,169	1,468,764
当期変動額										
資本剰余金から利益 剰余金への振替		△ 261,251	261,251		—					—
親会社株主に帰属する 当期純利益			140,005		140,005					140,005
第三者割当増資による新株 の発行及び自己株式の処分		△ 37,449		489,769	452,320					452,320
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						△ 48,912	27,739	△ 21,173	12,920	△ 8,253
当期変動額合計	—	△ 298,701	401,257	489,769	592,325	△ 48,912	27,739	△ 21,173	12,920	584,072
当期末残高	1,077,998	514,827	366,522	△ 24,743	1,934,605	△ 33,555	696	△ 32,858	151,089	2,052,836

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

(2020年2月29日現在)

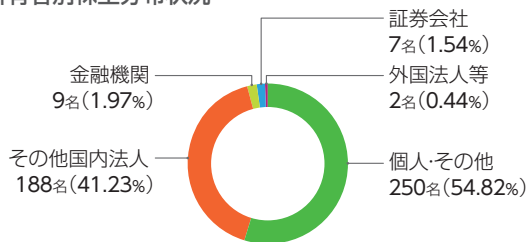
1) 発行可能株式総数	2,175,000株
2) 発行済株式の総数	934,999株
3) 株主数	456名

●大株主(上位10名)

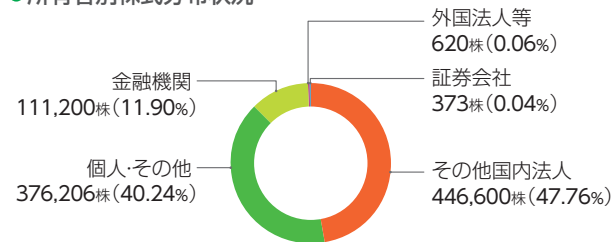
株主名	株式数(株)	持株比率(%)
株式会社 イズミ	185,200	19.81
佐竹 睦子	92,500	9.89
マルヨシセンター取引先持株会	72,300	7.73
有限会社 佐竹興産	49,900	5.34
株式会社 百十四銀行	37,900	4.05
株式会社 阿波銀行	37,900	4.05
マルヨシセンター従業員持株会	27,939	2.99
佐竹 克彦	26,000	2.78
ロージー 美佳	17,000	1.82
損害保険ジャパン日本興亜 株式会社	12,700	1.36

(注) 1. 持株比率は自己株式(63株)を控除して計算しております。
 2. 損害保険ジャパン日本興亜株式会社は、2020年4月1日に会社名を損害保険ジャパン株式会社に変更いたしました。

●所有者別株主分布状況



●所有者別株式分布状況



会社概要

(2020年2月29日現在)

社名	株式会社マルヨシセンター
設立	1961年3月
本店の所在地	香川県高松市国分寺町国分367番地1
資本金	1,077,998千円
事業内容	スーパーマーケットおよびレストラン
店舗数	スーパーマーケット37店舗 レストラン1店舗
従業員数	443名 (ほか、パートタイマー1,182名 [8時間換算])

取締役・監査役

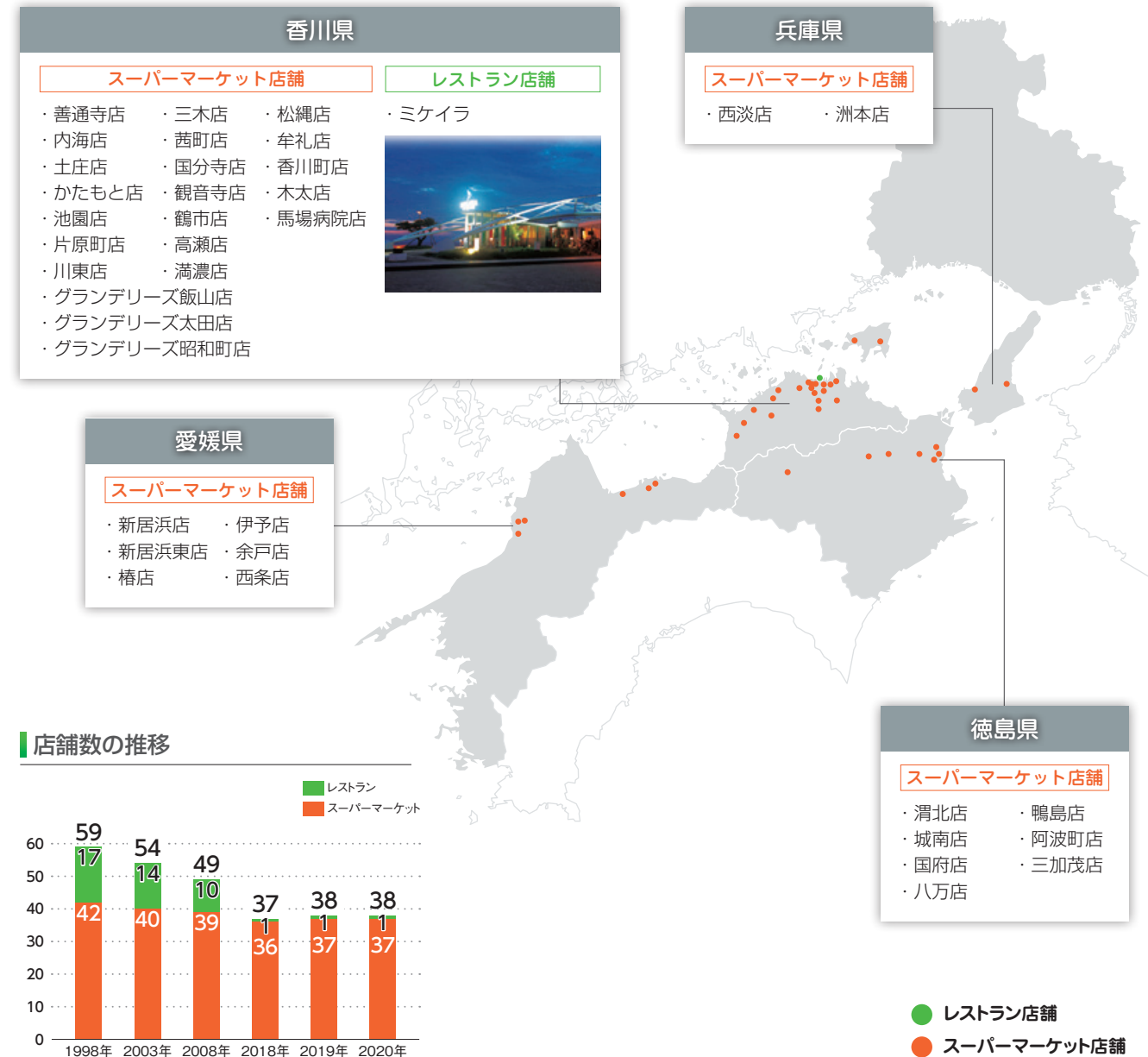
(2020年5月28日現在)

代表取締役社長	佐竹 克彦
取締役副社長	伊東 栄治
取締役副社長	加藤 宏道
取締役	小笠原 将仁
取締役	大下 秀樹
常任監査役	た田 好克
監査役	いがらし まさ昭
監査役	かわ しょう次

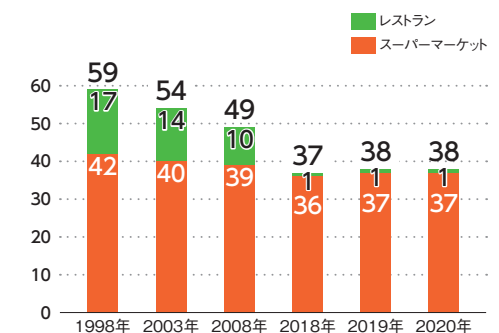
(注) 大下秀樹は社外取締役、五十嵐正昭および川東祥次は社外監査役であります。

会計監査人

太陽有限責任監査法人



店舗数の推移



● レストラン店舗
 ● スーパーマーケット店舗